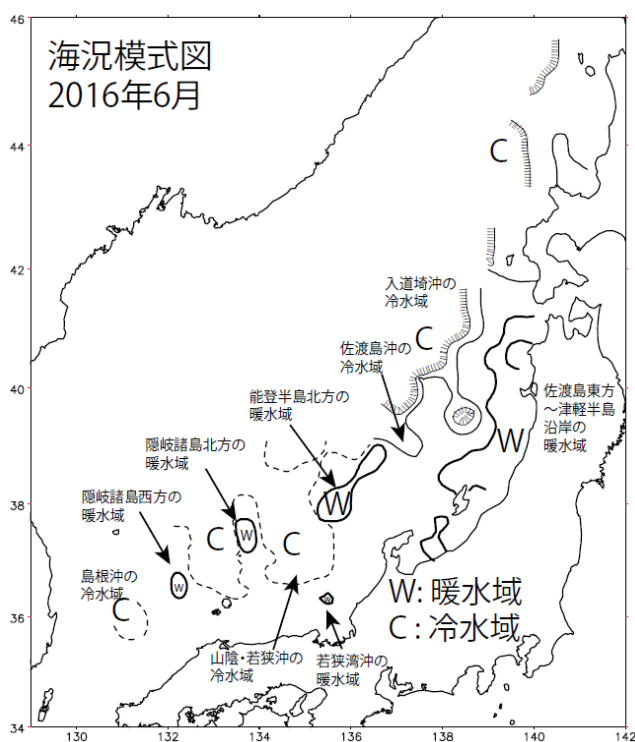


平成28年度 第2回 日本海海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
日本海区水産研究所がとりまとめた結果 －

今後の見通し(平成28年7月中旬～9月)のポイント

- ・ 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部・西部ともに“やや高め”で経過する。



2016年7月中旬～9月の海況

- 隠岐諸島西方の暖水域は勢力を拡大しつつ停滞。
- 隠岐諸島北方の暖水域は縮小しつつ南へ移動。
- 若狭湾沖の暖水域は北東に移動した後消滅。
- 能登半島北方の暖水域は停滞。
- 佐渡島東方～津軽半島沿岸の暖水域は勢力を縮小しつつ停滞。
- 島根沖の冷水域の張り出しはやや小さくやや離岸。
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しはやや小さくやや離岸。
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しはやや小さくやや離岸。
- 入道埼沖の冷水域の張り出しはかなり小さくかなり離岸。

問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所

担当：業務推進部 加藤、江連

資源環境部 渡邊、井桁

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.fra.go.jp/>

平成28年度 第2回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2016年7月中旬～9月）

- (1) 隠岐諸島西方の暖水域は勢力を拡大しつつ停滞する。隠岐諸島北方の暖水域は縮小しつつ南へ移動する。若狭湾沖の暖水域は北東に移動した後消滅する。能登半島北方の暖水域は停滞する。佐渡島東方～津軽半島沿岸の暖水域は、勢力を縮小しつつ停滞する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、やや小さくやや離岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや小さくやや離岸で経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや小さくやや離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくかなり離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部・西部ともに“やや高め”で経過する。

2. 経過（2016年3月～2016年5月）

- (1) 3月に隠岐諸島北方で見られた暖水域は5月にかけて縮小しつつ停滞。3月に隠岐諸島南東に見られた暖水域は東進し、5月に能登半島西方に分布。5月に隠岐諸島南東に暖水域が出現。3月に能登半島北方に見られた暖水域は、5月にかけて勢力を縮小しつつ停滞。3月に佐渡島東方～津軽半島沿岸に見られた暖水域は、5月にかけて勢力を縮小しつつ停滞。
- (2) 島根沖の冷水域は、3～5月は規模・接岸状況とも平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、3月は規模はやや小さくかなり離岸、4月はやや小さくやや離岸、5月はやや小さくかなり離岸。佐渡島沖の冷水域は、3、4月は規模はやや小さく離岸距離は平年並み、5月は規模はやや小さくかなり離岸。入道埼沖の冷水域は、3月は規模はかなり小さくかなり離岸、4月ははなはだ小さくはなはだ離岸、5月はかなり小さくはなはだ離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
3月は、隠岐諸島周辺と山形北西沖で平年並み以外は、概ね“やや高め”～“かなり高め”。富山湾では“はなはだ高め”。4月は、隠岐北西沖と山形沿岸で平年並み、丹後半島沖で“やや高め”以外は、概ね“かなり高め”～“はなはだ高め”。5月は、佐渡から男鹿半島にかけて平年並み、能登半島北西と佐渡北方において“かなり高め”～“はなはだ高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、3月は日本海北部では“かなり高め”、西部では“やや高め”。

3. 現況（2016年6月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島西方、隠岐諸島北方、若狭湾沖、能登半島北方、佐渡島東方～津軽半島沿岸に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模はかなり小さくやや離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、規模は平年並みでかなり離岸。佐渡沖の冷水域は、やや小さくかなり離岸。入道埼沖の冷水域は、かなり小さくはなはだ離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、隠岐諸島周辺で“平年並み”以外は概ね“やや高め”～“かなり高め”。山口県沖、新潟県沿岸、北海道西方沖で“はなはだ高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部では“かなり高め”、西部では“やや高め”。

(註) 引用符(“ ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| “はなはだ高め(低め)” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ) |
| “かなり高め(低め)” | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ) |
| “やや高め(低め)” | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ) |
| “平年並み” | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産試験場	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所